

愛ちゃん ゆく! 第28話 手話にチャレンジ

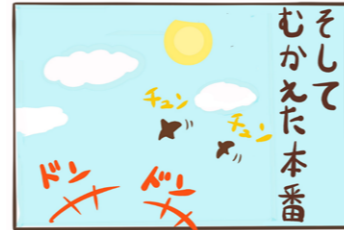
— 県議体験記 —

数年前から習っている手話を議会質問で使ってみたくて思っていたので、9月議会の冒頭で初挑戦しました。「皆さん、こんにちは」と手話を交えて話し出すと、すぐに知事も「お!」と反応され、「岡山はいぐさの栽培がさかんだったので、岡山はこう表します。知事もぜひ覚えて下さい」と説明すると、知事も議員の皆さんも興味津々で真似をされました。数分間手話で話した後に「では手話はここまでにさせていただきます質問を」とひと区切りすると、議場から拍手がわき、「今度は俺もやろう」という声も

いくつか聞こえ、思いかげぬ反響と手話を身近に感じてもらえたことが嬉しかったです。



「岡山」の手話は、腕を交差させて、つまんだ両手の指をパッパッと開く動作を繰り返します。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

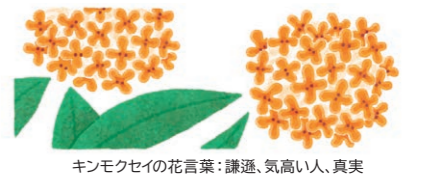
岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第28号]
発行:2023年10月(2023年9月議会報告)

最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
●みどり岡山ホームページ:
https://midori-okayama.org/

[事務所]
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
[自宅]
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808

大塚愛

県政レポート(2023年10月発行) [第28号]



いっぽ通信

P.02-03 高校の転学・太陽の丘公園

- P.01 子どもたちに伝える「県議会議員」の仕事
- P.02-03 おもな活動記録から「森づくり体験/有機農業交流会」
- P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき(2023年7月~10月)



みなさん、こんにちは。今年秋祭りなど、地域行事やイベントが4年ぶりに開催され、人が集まって賑わうことや、顔をあわせた交流がしやすくなりました。およそ4年にわたるコロナ禍では、自粛中の我慢や不安のある生活が続きましたが、ようやく通常に近い暮らしに戻ってこれたことを思い、有難さを感じます。また、コロナワクチン接種については、副反応と思われる症状

で苦しめる方のお話を身近で聞くことも多く、そのようなリスクをあわせて慎重に考えていただければと思います。議員となっては7年を迎えますが、当時幼かった子どもも、18歳、14歳、9歳となりました。休日には私の活動に次女がついてきて、ホームレス支援の講演を聞いて「いい話だった!」と子どもなりに感銘を受けていたり、14歳の長女とは日



議会や委員会に出席して発言・相談を受けて動く・視察や独自調査・式典に出席・議会活動を通信や動画で伝えるなど、議員の仕事を説明しました。

本の食料自給率が38%と低い問題について話しあったり。議会前に私はよく家で質問原稿を書きながら音読しているのですが、そんな母親の姿を見ながら、「号泣議員(笑)」など。議員はとっつきにくい存在ですが、「たとえば昨日は一日こんな風に動いていたよ」と事例をまじえて話したところ、皆さん熱心に聞いてくれました。将来政治家になりたいという生徒さんともお話ししましたが、これからの社会を担う子ども達の夢をいろんな形で応援していければと思います。

日々のうごき

2023年7月~10月

- 7.18 ひだまりカフェ@吉備中央町、たけべ部@建部中学校
- 7.19 農林水産委員会県内調査(備前県民局・赤磐・瀬戸内)
- 7.20 NPOもみの木会議、空き家活用のお話@岡山市空き家対策推進室
- 7.21 県内調査(アサコ工業・岡山県観光連盟)
- 7.22 手話講座@建部町公民館、有機農業の懇談@金川SAKAGURA
- 7.23 強度行動障害シンポジウム
- 7.24 みどり岡山会議
- 7.25 農林水産委員会県内調査(津山・美咲・勝央)
- 7.26 たけべ家おこしプロジェクト会議@omoya 545.省エネ建築セミナー
- 7.27 木村式自然栽培の懇談@倉敷、災害支援重機の練習@真備小田川河川敷
- 7.28 不登校支援のお話@NPO法人Attane. DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山総会
- 7.29 原田ケンスケお話し会@御津
- 7.30 緑と水の道会議@絵図町、半田滋氏講演会@労金ビル
- 7.31 農林水産委員会県外調査(~8.2)
- 8.4 太陽の丘公園視察
- 8.7 希望の給食上映会&視察報告会@倉敷、子ども支援調査の懇談@NPOセンター
- 8.8 岡山御津高校説明会、学校建築断

- 熱研究会セミナーonline
- 8.9 強度行動障害支援のお話@旭川荘、御津建部有機農業交流会
- 8.10 常任委員会(農林水産)
- 8.11 夏休み森づくり体験&木工教室ツアー@吉備中央町、建部町納涼花火大会
- 8.12 宇甘東地区夏祭り
- 8.18 虹とみどり全国政策研修会@東京
- 8.20 奉仕作業@竹枝小学校、福ふく市@福渡駅、宇甘西地区かかし作り
- 8.21 常任委員会(農林水産)
- 8.22 岡山県青少年問題協議会
- 8.23 水道管理の勉強会
- 8.24 常任委員会(農林水産)
- 8.25 岡山まちづくり推進機構総会
- 8.26 手話講座、「飯館村ベこやの母ちゃん」上映会、どうろう流し@緑と水の道
- 8.27 B&G海洋まつり@建部
- 8.28 特別委員会(教育再生・子ども応援)、フラワーデモの取材、子ども未来・愛ネットワーク世話人会
- 8.29 岡山市立中央中学校視察
- 8.31 ヤングケアラーへの理解と支援を考えるシンポジウム
- 9.1 みつつかフェ。@岡山御津高校
- 9.2 子ども図書館ほたる
- 9.5 9月議会開会、SSW山下英三郎氏講演online
- 9.6 後楽館中学校文化祭
- 9.8 代表質問(中川議員)
- 9.9 獅子舞シンポジウム@御津公民館、学習障がい勉強会@岡山県LD等発達障害親の会はあとりんく
- 9.10 「こどもかいぎ」上映会
- 9.11 SSW支援とヤングケアラーの勉強会@NPOもみの木、フラワーデモ@エキチカ広場
- 9.13 一般質問(~9.21) 20日登壇

- 9.16 竹枝小学校運動会
- 9.17 希望の給食上映会&視察報告会@備前、樫大樹氏憲法の講演会
- 9.18 アユモドキ水族館@サイビア
- 9.22 特別委員会(教育再生・子ども応援)、議会ペーパーレス研修会、チャリティライブ宮沢賢治の世界
- 9.23 総社宮草刈り@加茂川ホリデイフォレスト
- 9.25 気候変動ミステリーワークショップ@操南中学校
- 9.26 常任委員会(農林水産)、県議会vs執行部野球大会
- 9.29 9月議会閉会
- 9.30 きずな20周年奥田知志氏講演会
- 10.1 わっしょいわんさかラジオ祭り@吉備中央町、Hara²の会
- 10.2 女性支援計画の意見交換会
- 10.3 会派勉強会(統計分析課)
- 10.4 県内調査(県立博物館、福祉相談センター)
- 10.5 御津建部有機農業交流会
- 10.6 瀬戸内法の懇談
- 10.8 吉田地区秋祭り&神楽

9月議会で取り上げたことから やり直しを応援できる転学制度を



県立高校の転学制度について

Q. 2021年度に県内の高校を中途退学した生徒は683名、他校に転学した生徒は859名で、1年間に1500名を超える生徒が入学した高校をやめていることが県の調査でわかっています。高校をやめる背景は、人間関係のトラブルやいじめにあつて登校できなくなった、入学した学校が想像と大きく違って意欲を失ってしまった、進学校の大人数の中で競争の圧力に疲れてしまったなど、その理由はさまざまあると聞きます。高校に通えなくなることは、本人や周囲にとって悩ましい事態ですが、大事なのはその後やり直していける選択肢が十分にあることだと思います。現在そのような生徒が選べる主な選択肢は通信制か定時制のみと限られており、全日制の高校への転学は認められていません。調べてみると東京都にはその制度があり、昨年度は都立高校92校に159名が転学しています。新しい環境で再チャレンジしたいという生徒を支えるために、このような制度を岡山県にも設けるべきだと考えますが、いかがでしょうか。

教育長 不登校や中途退学は本県にとって

も大きな課題であることから、東京都などの状況も参考にしながら研究していきたい。

大塚 学校においても社会においても、行き詰った時や方向転換したいと思った時にやり直せる選択肢があることは大事なことで、少しでも早く、出来るところから導入できるように進めていただきたい。

太陽の丘公園

Q. 太陽の丘公園は、1963年に当時の三木知事が「子ども達の将来が太陽に輝くよう



半世紀にわたり愛されてきた恐竜滑り台。出来た当初は目が光り、声も出たそうです。

に」という願いで作られ、大きな恐竜の滑り台がシンボルになっています。60年にわたり広く県民に愛されてきた公園ですが、今年度遊具の安全点検が行われた結果、ほぼすべての遊具が6月から使用禁止となっています。公園は子育て支援にとって欠かせない地域資源であり、親子2代、3代にわたって親しんできた多くの方が再開を待ち望んでいます。子ども達の遊び場が再建できるよう、プレーパーク活動などの関連団体や子ども達の意見も取り入れ、魅力ある公園づくりに取り組んでいただきたいと思います、いかがでしょうか。

教育長 現在、撤去に向けた準備を進めているところだが、公園全体が岩場になっていることから(*現在の安全指針では岩の上に遊具が作れないため)、専門家の意見も踏まえて検討している。今後の検討にあたっては、生涯学習センター運営協議会の場で、子どもの体験活動に関わる民間団体や学校関係者などから意見をいただきたい。

県有施設の省エネ・再エネについて

Q. 異常気象がもはや定着しつつある昨今、将来世代のために気候変動対策を進め

る必要は高まっています。岡山県は2050年度に温室効果ガス排出を実質ゼロにすることを表明し、県自らが主体となって進める「岡山県エコ・オフィス・プラン」では、2温室効果ガスを50%減らす(2013年→2030年)目標を立てています。

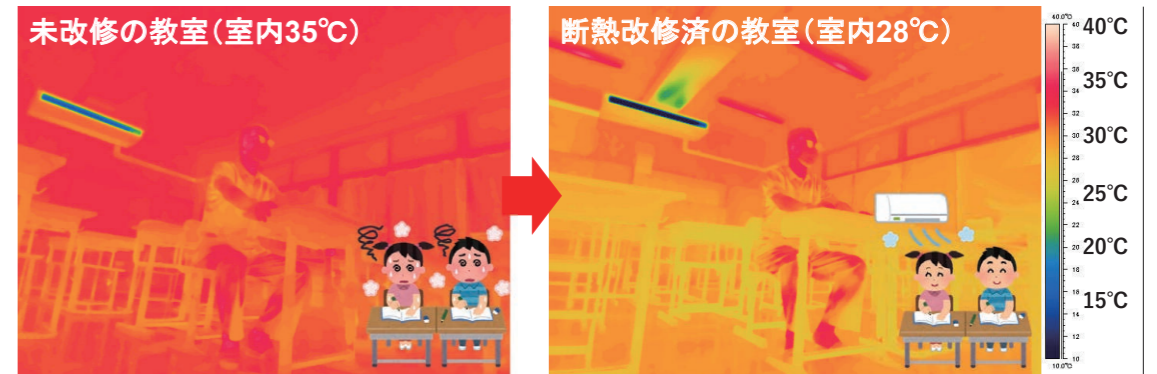
再エネの導入について

は、設置可能な県有施設の50%に太陽光発電設備を2030年度までに設置するとしています。その施設で消費される電気をより多く再エネに替えられるよう、積極的に設置方法を検討していただきたいですが、どのような方針で検討しますか。

環境文化部長 日射や設置費用などの経済効率性をふまえて検討していく必要がある



操南中学校の美術室で、壁に入れる断熱材をカットする様子。生徒さんも上手に出来ました。



断熱改修ができていない教室では、天井や壁のコンクリートが熱くなるため、エアコンが効かず電気の無駄使いになります。8月には、文科省に対して校舎の断熱改修を求める要望活動も行われました。

るが、まずは比較的容易に設置できる施設の屋根への設置を検討する。お話の通り、規模も重要なので、今後の新技術の動向をふまえて、壁面も含め効果的な導入を検討したい。

Q. 今後予定する県有施設の新築事業は、40%以上の省エネとなる「ZEB*オリエンテッド」相当を目指し、可能であれば50%の省エネとなる「ZEBレディ」にする計画にしていますが、今年度設計している水島警察署の省エネ基準は?

警察本部長 水島警察署の建て替えでは、「ZEBオリエンテッド」相当を目指すことにしている。

*ZEB: ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(略称)

Q. 気候変動に向けて自ら出来ることを進めようと、長野県白馬村の高校生が校舎の

断熱改修に取り組んだことをきっかけに、各地で学校の断熱改修ワークショップが行われています。県内でも岡山市、倉敷市、津山市の小中学校で、NPOや建築事業者、PTAなどが協力して、教室の窓や壁、天井の断熱改修が行われ、子どもたちが地域の職人さんと共に作業にあたり、施工した教室では冬の温かさやエアコンの電気代が2割減らせたなどの効果が得られています。今後、県立学校でも同様のワークショップが行われる際には、応援いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育長 断熱改修ワークショップは、県教委が推進している課題解決型学習にもつながる取り組みだと考えている。技術的な助言も含め、どのような支援ができるか研究していきたい。

親子森づくり体験&木工教室ツアー

@岡山市ひとり親家庭福祉会
×加茂川ホリデイフォレスター(8月10日)

子 子ども達にいろんな体験をしてほしい、森づくりを知ってほしいという思いから、関わりのある二つの団体をお繋ぎして、夏休みに体験ツアーを企画しました。当日は約40名の親子さんが吉備中央町に

来られ、午前中はヒノキの枝打ち作業、午後からはヒノキの板で木工教室をしました。フォレスターの熟練メンバーの皆さんが、森の木のお話や鋸の使い方を教えて下さり、真剣に鋸をひく子どもたちの姿が印象的でした。「また木を切りたい!」という子も多く、五感を使った体験を通じて、これからも岡山の森づくりや木材に関心を持ってもらえたら嬉しいです。

木と親しみ、多様な交流を楽しんだ一日でした。



おもな「活動記録」から

御津建部有機農業交流会

@たねをまもる会おかやま
(7月10日、8月9日、10月5日)

持 持続可能な食料システムをつくるために、国は有機農業を大幅に増やす計画を昨年からは進めていますが、岡山でも

有機農業を応援していればと、有機農業や特別栽培をされている農家さん達と7月から交流会を始めました。御津・建部は岡山市内でも有機農業に取り組む方が特に多い地域ですが、農場で月に一度マルシェをされている方、学校給食に有機野菜を提供されている方、新規就農の方を育成してグループで生産されている方、最近独学で自然栽培を始めた方などが集まり、いろいろな意見交換をしています。環境保全

に役立つ有機農業の普及や学校給食での活用に向けて動いていけたらと思います。



毎月たくさんのお店が出る「しゅんの市」(AsaiFarm&Molln御津中泉1230)